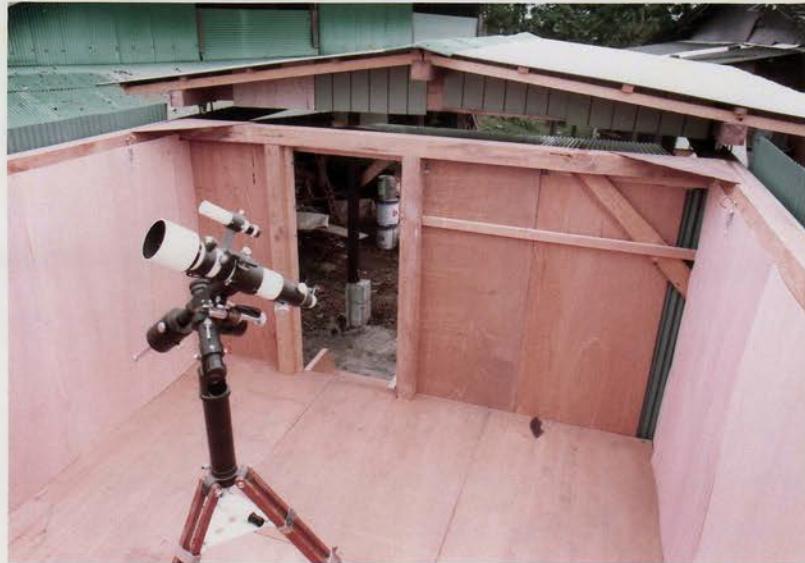




○ 行事予定

- 12月 6日 企画委員会, PM7:30~ (毎月第1月曜です。)
12月 11日 運営委員会, (運営委員になりたい人は、どうぞ来て下さい。)
12月 13日 双子座流星群極大, (最良, 11日~13日にかけて観測しませんか?)
12月 30日 月食観測会, (おさそい合せの上、御参加下さい。観測終了後忘年会を行ひ予定です。今年最後のイベントです。)



黒松天文台完成 //

(記事は3頁から。)

さる、11月9日に津留繁雄先生（会員番号120）が、急逝されました。

宮本先生の弔

辞をここに載せるとともに、先生の御冥福をお祈りいたします。

○ 弔辭

宮本 幸男

謹しんで熊本県民天文台運営委員 故津留繁雄先生の御靈の前に額すき御別れのことばを申し上げます。

天文台開所式当日、「良かった、本当に良かった！」と、心から喜んで居られましたのに、御酒を召されても何となく御疲れの御様子でした。

夏には検査のため御入院とのことで、間もなく元気なお顔を見せて下さるものと信じて居りましたのに、11月9日突然の計報に接し驚愕致しました。

奥様を始め御家族皆々様の献身的な御看護にも拘わらず、こんなに急に昇天されようとは、夢にも思いませんでした。

私共はこの悲しむべき現実の前に均しく頭を垂れ、先生の御冥福を御祈りする外にはございません。

先生は星を愛され、こよなくお酒を楽しんで居られました。

青草に露のおりる丘の上で、星見会をした事があります。焚を囲んでの夕食のあと、「百葉の長は一杯どぎゃんですか。」と、ニッコリされる笑顔が忘れません。飲むほどに酔うほどに、シューベルトの歌曲、水車小屋の己女の一節“朝の挨拶”をドイツ語で朗々と歌いあげられる先生の美声を、耳の奥に焼きつけている会員も多いことでしょう。

五月には、待望の天文台が出来たと言うのに、先生、どうしてこんなにも早く「星」になってしまったのですか？

スバル星や、上弦の月を御一緒に眺めるのを楽しみにして居りましたのに！ 本当に残念でなりません。

今からは、空の上でチビリチビリやり乍ら望遠鏡で私共を見守っていて下さい。

茲に、星仲間を代表して先生に最後の御別れの言葉を捧げます。

どうか先生、安らかに御休み下さいませ。

合掌

昭和五十七年十一月十一日

スペシャル

黒松天文台完成！

工藤 哲生

星屑98号で自己紹介した「カントリーロードの風」です。あの中で「天文台の素オーナー」と書いたことを覚えてますか？あれから7ヶ月も過ぎ、やっとそれらしき建物が出来ましたので紹介します。

私が自分の観測所を持ちたいと考えるようになったのは、だいぶ以前からで高校を卒業する頃から思っていた様です。でも高校を卒業してそのまま三重県四日市へ就職して行ったので観測所は夢になってしまい、光害の多い所だったので車を買ってからは50km程離れた青山高原や、鈴鹿峠あたりに行っては10センチ反赤で星空を楽しんでおりました。3年前に熊本へUターンして帰った頃からは、自分の部屋が狭いこともあって、自分の部屋と観測所と一緒に作ろうと本気で考えて一応の設計図も書いていました。でもその計画は新車を買ったことにより資金がなくなり断念しようかと思いましたが、とにかく望遠鏡だけでも固定しておきたいと考え、色々と工夫してましたら結局今の天文台の設計図が出来てしまい製作に取り掛りました。

とにかく大工仕事など1度もやったことがなかったので、すべて自己流でやってみました。製作していった順に記します。又、この観測所は20センチ級を入れる事を考えて作りました。まず望遠鏡の基礎作りからです。地下1mの所に1m×1m厚さ10cmのコンクリート基礎を作りそこから地上80cmの所まで19cm厚ブロックを4個ずつ積み上げて作りました。

次に建物の基礎です。これも19cm厚ブロックを使いました。水平をどうやって出そうかと色々考え、ビニールパイプと水を使い割と精確に水平を得ることが出来ました。

建物の材木ですが、始めは古材の安価な物を使うつもりでしたがそんなに都合よくは見つからず、全部新品の物を使い高くなきました。

骨組には8.5cm角の材木を多く使い、1本1本ノコとノミでほぞを切り作りましたので時間が掛かり、手に豆も沢山出来ました。床は12mm合板、屋根及び外壁はカラー波トタン、内壁は安いベニヤです。屋根移動用ローラーはプラスチック製50×21の物を片側に3個ずつ取り付けてます。キーと音がしますがちゃんとスライドしてくれます。レールは使ってません。その替わりに振れ止めを屋根の四角に設けてあります。

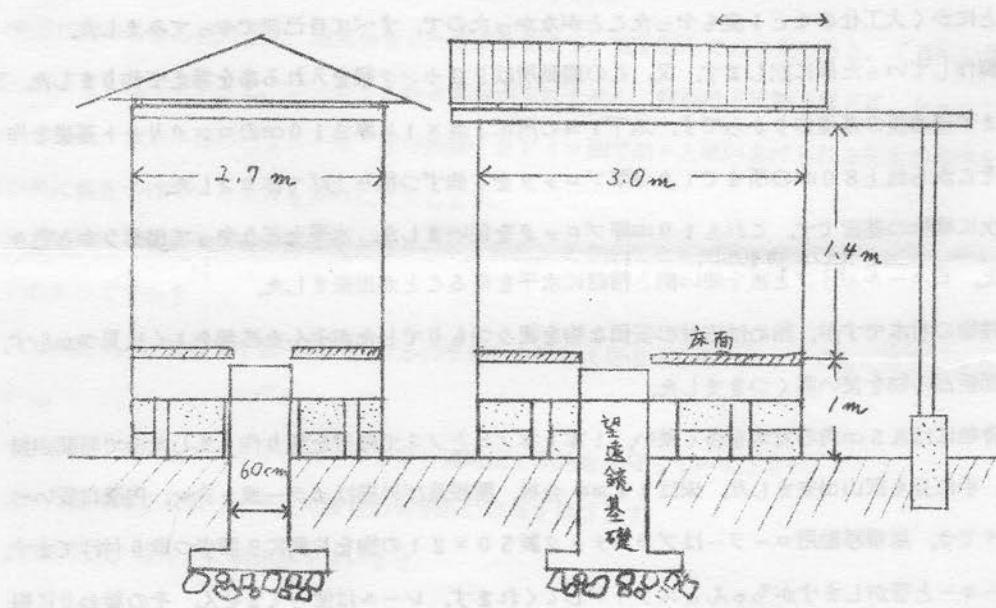
スライド用の延長柱は雨や風にさらすことになりますから防腐剤としてクレオソートをたっぷり塗ってますが、これは皮膚に付くとかぶれます。私はかぶれて手や腕が2日程ヒリヒリしました。

「完成」と書きましたが、まだやることが色々と残っています。まずT S - P型を据付けること、電気を引くこと、それと建物にすき間が多いのでこれをなんとか少なくしようと思っています。すき間が多い為寒い日など屋根トタンの内側に水滴が付着してよくないからです。

黒松天文台の空の状態は、熊本市より約15km離れているので割りと良くて熊本県民天文台と同じくらいには見えますが、南天は市の光害がひどくて良くありません。その他の方向は光害は少ないようですが、東には竹林が少しあり、北には納屋があり視界はそれほど良いとはいえないようです。

これから観測テーマとかは残念ながら今のところ持っていないなくて、しばらくは天体写真を多く撮影することにしていますがせっかく作ったのですから何かテーマを見つけてたいと思っています。それと望遠鏡も将来は20cm級を持ちたいのですが、数十万円もしますからいつになることやら。

黒松天文台 見取図



真空タンクの作り方

成松 和夫

天体写真もろくに写した事もない私には、水素増感など眼中にありませんでした。ところが職場で水道用の部品のチェックをしていると、偶然真空タンクに利用できそうな部品を見つけました。フォーミングガス友の会の会員でもあるし、真空タンクでも作って見様かと思い立ったわけです。

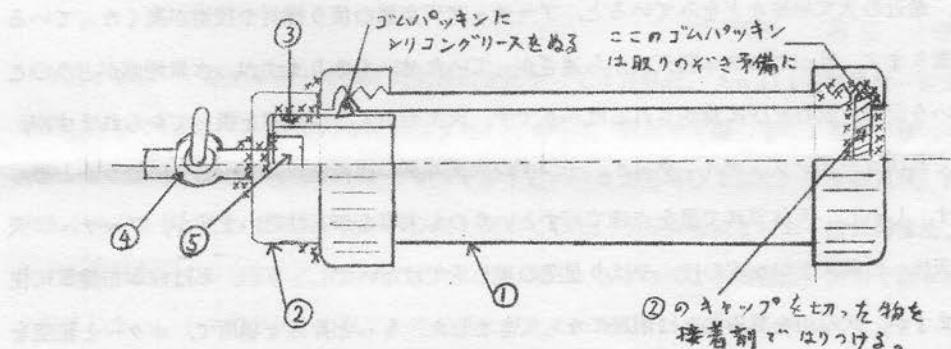
部品については、大部分職場の物を利用させていただきました。タンク本体は、VPの25mmのユニバーサルジョイント（正しい名前が分りません）を利用しました。真空グリースの変りには、トランジスタのシリコンオイルを使用しました。

作り方については、図を見てもらえば理解できるかと思います。ユニバーサルジョイントの片方は、VPのキャップを切り塞ぎました。この容器で35mmフィルム2本入ります。

実験の結果については、24時間内では、ほとんど真空状態で有り、圧力に対しては、内部に2気圧入れて、空気の漏れが有りませんでした。十分に使用できると思います。

天文台でも、数人の人が、以前から色々工夫されている様で、もっと良い物が完成されると思います。まだ完成したとは、言えない真空タンクですが、製作される人のヒントになれば幸いです。

なお、製作に際して、色々な人のアイデアを使用させてもらいました。心から御礼申し上げます。



① — ユニバーサルジョイント 500円前後

①, ②, ③ は水道工具店

② — キャップ (VP25mm用) 60円
エコ復用

④, ⑤ はサンコーなどに
あります。

③ — 塩ビパープ少々 (VP25mm用)

xxx はエポキシ系接着剤
です。

④ — 噴霧器のコック (1/4) 5~800円

⑤ — ボルト

自己紹介

小林 昌樹

自己紹介を書いてくれといって、星屑編集担当の委員から2枚の紙書きを渡されて、自己紹介らしきものは星屑100号の運営委員5行小話集の欄で書いたのにまたかと思いながら、筆を取ります。ちょうど開台日の5月20日に入会したいんですけどと言って、仲間に入れてもらった小林昌樹です。まず、入会して名前を名乗ったら、会員のほとんどの人が笑ってました。なんでも別に小林某氏がおられて、しかも……（これ以上書くと後で痛い目に会いそうなので、カット）

自己紹介そう自己紹介なんです。まず、職業は公務員。なぜか運営委員で社会人の中には公務員が割と多いようです。私は公務員でも事務屋なんです。事務屋と天文台、変なとりあわせですが、そこが私の私たる所以であります。星を見始めたのは高校時代6センチ屈經を購入して以来で、10年程になるのですが、観望だけだったので、入台を機に天体写真にトライしようと思っています。入台して感じたのは、31センチ反射の威力のすごさです。熊本にもこんなにすばらしいものができるので、多くの人に見てもらいたいと思い、運営委員になった訳です。ただ、一般公開の際、時々むずかしいリクエストがきて困ることもあります。もっと知識を蓄えなければと思っているところです。

さて、最近の天文雑誌などをみていると、アマチュア天文家の使う機材や技術が高くなっているのには驚きます。私がこの3年程天文から遠ざかっていたせいもありますが、水素増感がどうのこうのという記事を読むたびに驚かされるばかりです。天文台でも水素増感を扱っておられますか、とにかく私はゴーイング・マイ・ウェイ。一つずつ天文写真の技術をマスターしていくかと思っています。しかし、天体写真で星を点像で写すというのも大事な事とは思いますが、アマチュア天文家の天体への興味をつなぐのは、やはり星空の美しさではないでしょうか。私は熊本市健軍に住んでいますが、天の川を見ることは困難になってきました。もっと身近な場所で、ボケーと星空を眺めることができればと思うばかりです。

そのためにという訳ではないんですが、4週5休を利用して新月の前後に観測しようと思っています。観測は公務員と学生の数名で、入呼んで「新月会」。31センチ反射を利用して観測したいと考えています。31センチ反射を利用したそれなりの成果となると、先輩諸兄に任せるとして、私としては、いかに星を楽しむかを追求するつもりです。

☆天文台日誌より

今回は、9月1日から10月1日までの天文台日誌から、ピックアップしてみました。

- ☆9/4 車20台、お客様110名で大変な混雑 小供が足で電線のコードを引っかけて、
スライド転倒、電球切れ。 このあと、元島先生の名調子による星座案内。 Shamo.
- ☆9/7 30名、来台者はアベックばかり。 今後、同性同士以外は受け付けないように
しよう！ Yooではないけれど、やっぱり女性がいいとSooがわめいている。 JK
- ☆同日 珍しく晴れる。 これも担当者の心がけが良い為であろう。 ホーキ星は見え
るし、来台者は少ないし、何とも楽しい一夜であった。
- 紅い月が、絵ハガキの様に、車の上より登る。 KCAOバンザイ！ J・K
- ☆9/15 熊本市内・松橋・城南町から連れそって、8人来る。 疋っているのによく来て
くれました。 望遠鏡で、地上の星（鉄塔のライト）を見せる。 みんな喜んで帰る。 N
- ☆9/17 若人五人でKCAOの将来等について、徹夜で会談する。 有意義な一夜、これ
がうわさの新月会。
- ☆10/1 晴 お客様0、仲秋の迷月、昇ったのやらどうなったやら全く見えず。 TN

○熊本でも見られるぞ！（ロケット発光雲）

熊大天研 堀田 守男

9月12日 昼間草刈りでいた天文台にまたやってきた私は、Austin彗星を一般公開中に
観測したのでした。 一般公開も終わろうとした9時頃、突然やぎ座の下に1等星が輝いており
全員 新星か？UFOか？車のヘッドライトか？といいながら叫びました。 その星は、だんだん
大きく丸くなり、そして東側に尾が伸びだしたのでした。「日食彗星ならぬ一般公開彗星」と言
いながら写真を写すのを忘れて30cmで見たのでした。 30cmによる頭部は、真白で数本の条が見
られました。 10数分後、肉眼で1本の尾に見えていたのが、真中から分かれてしまい2本の曲
がった尾が、見られました。 2本の尾だけのドナチ彗星の様だと思いながら見ていると、だんだ
ん尾の周辺からうすれていきました。 15分後、冬の銀河の様にうすくなり観望をやめてお茶を
飲みに下に行った。

次の日、昨日の天体が、内の浦から打ち上げたロケットの発光雲であったのを知った。 熊本か
らでも見えるのですよ。 晴れている夜は、南南東を注意しよう。

教訓 どんなときでも、フィルムとカメラを用意しておこう。

昭和57年10月25日の夜、11時頃の星の姿を歌に表現してみました。あまりにもキレイな星空だったので苦心して無理に詠みこんでみたものです。

会員名 250 佐川 敏明

東の空をおおいてオリオンの、星座昇り来、王者の如く。

八日月 西に傾き ひそやかに 肩よす如く スバル輝く。

アルタイル、デネブとベガを結びたる、夏大三角は、西に傾く。

ペガサスの翼をかりてはるかなる、南十字星に行くすべなきか。

銀河鉄道、スリーナインは発車せり、アンドロメダを ひた走り行く。

ペルセウス、アンドロメダと巡り来て、カベラに到る、銀河鉄道。

アルデバラン、プレアデスよりやや西に、牡羊星座、ひそと輝く。

○ 頁数の都合により、10首の中から7首を選ばせて、いただきました。

編集者

☆☆ 編集後記 ☆☆☆

☆M A T☆

毎月発行になって2回目です。皆さんからの原稿を一つの冊子にまとめていくのは、ジグソーパズルを解く様な、又は、色や形の異なるブロックをつみあげておもちゃの家を作る様な、そんな楽しさ面白さがあります。ただ、それが仕事の合間をぬってでなかったらもっと面白く出来るのでしょうか。今回の佐川氏、前回の池田氏と、原稿を御送り下さいまして、有難うございました。編集員一同（といっても一人しかいないのですが）大助かりです。

編集室では、会員の方の投稿（歌・レポート・漫画・意見等）を、御待ちしております。

12月30日の皆既月食は、KCAO出発の年の終りを飾るにふさわしいイベントです。暮の忙しい時ではありますが、皆で楽しい一時を（曇っても晴ても）すごしましょう。